

お月様のおはなし



文・nana

絵・neji+neji

sample



文・nana
絵・neji+neji



ずっと眩しいお日様に憧れていた。

お日様のように強く輝けるように、
みんなを照らす光になれるように。

だから一生懸命に光ろうとしていた。



ある日、誰かの声が聞こえてきた。

「お月様は自分で光っている訳じゃないんだよ。
お日様の光が当たって、光って見えるだけなんだよ。」

そうか…そうだったのか。

すべての努力が無駄だったと思えた。

悲しくて悲しくて、沢山の雲を集めて隠れて泣いた。

ample

sample

ためしよみ

は

ここまでです